

# 大和線混乗バス運行に係る町の対応について

## 町長 利用者目線で検討の中精査していく

**山田**

効率が低下している路線バスの見直しを行い、郊外型じゃがりん号と混乗バスを連結した形でじゃがりん号の時間帯を混乗バスに合わせて東西ルート、南北ルートそれぞれを南北は北部地区、東西は豊岡・寒別地区に調整しながら小学校低学年の子供を中心に乗せられるような態勢が取れないか伺う。

**町長**

現在、大和線が運行している地区の交通手段は、路線バスの大和線、第一系統のスクールバスを活用



山田 勉 議員

一つ目として、路線バスの競合により、スクールバス混乗の運行に制限がかかり、路線バスの在り方を含めバス事業者や地域と協議していきたい。二つ目として、冬期間吹雪や吹き溜まりなどを

した一般混乗の2種類があり、路線バスが午前7時と午後4時台及び午後5時台の1日3便。学校が休みの時は1日2便運行、スクールバス混乗は午後3時台の1便となっている。

路線バス大和線の利用状況は昨年10月と本年5月の乗降調査を実施し14日間で計13人の利用があり少ないと言わざるを得ない状況にある。

本年郊外地区の交通対策としてスクールバスの拡大活用した対応について検討しており、解決しなければならぬ三つの点がある。

考慮すると小型・中型バスでの運行が困難であり、大型バスで運行せざるを得ない状況であるが、大型バスは小回りが利かないことから細かなルートが設定できず車両形態や運行ルートについて検討する必要があります。

三つ目として、郊外型じゃがりん号の運行にあたり、じゃがりん号車両

であるワゴン車で運行すると、スクールバスを利用する小中学生が車両定員を満たし、乗車出来ないことが想定される。加えてワゴン車ではなく、小型・中型バスで運行すると冬期間の天候により運行が困難になることも考えられる。

町としてはこれらの点を踏まえ実情にあった施



混乗スクールバス

策について研究し、関係機関などと連携、協議を重ね、様々な角度から前向きに取り組んでいきたい。

**山田**

地域交通の確保に伴い高齢者の買い物及び病院の通院など通勤車両に補助金を出し運用している実例もあり、直営で出来る態勢が取れないかという思いの中で伺う。

**町長**

利用実態が利用者目線で時間帯が取れているかさまざまなアンケートをし、要望の高いところを整理しながら行っていきたい。

**山田**

スクールバスとじゃがりん号を連結させ、北六線以北は新幹線トンネル工事車両が通り、その部分を回避させるため、じゃがりん号を走らせることは出来ないか。

**町長**

じゃがりん号を郊外に走らせる有無についてまだ整理されていないところであり、利用実態やどうあるべきかという姿を整理し、利用実態や経済的にも認められる範囲ということが合意されればそれも一つの手法と思っております。今後様々な形態の考えの中で取り組みをしていきたい。



じゃがりん号

一般質問 山田 勉